

なかのZERO・上廣レクチャー



「私のテニス人生～世界にはばたくための手段。そして今」

スポーツコメンテーター・元プロテニスプレイヤー

杉山 愛

ジャーナリスト

× 吉井妙子



15歳で日本人初のジュニアランキング世界一に輝き、プロ転向後にはシングル8位、ダブルスで1位にランクインしただけでなく、グランドスラムでは3度の優勝を果たす。引退後は育児をしながら大学院でコーチ学を修得し、テレビのコメンテーターとしても活躍。そのエネルギーの根底にある”遊戯(ゆげ)三昧”の精神を解き明かす。常に新たな挑戦をつづける杉山愛氏が、ジャーナリストの吉井妙子氏との対談形式で語ります。

■杉山愛(すぎやま・あい)

1975年神奈川県生まれ。15歳で日本人初の世界ジュニアランキング1位。17歳でプロに転向。34歳まで17年間プロツアーを転戦。グランドスラムでは女子ダブルスで3度優勝(2000年全米オープン、03年全仏オープン、03年ウィンブルドン)と、混合ダブルスでも優勝(2000年全米オープン)を経験し、グランドスラムのシングルス連続出場62回の世界記録を樹立。オリンピックには4回連続(アトランタ、シドニー、アテネ、北京)出場。WTAツアー最高世界ランク シングルス8位、ダブルス1位。09年東レパンパシフィックオープンを最後に現役を引退。10年第1回ユースオリンピックでは日本人で唯一「アスリートロールモデル」に就任し世界中の若い選手に指導的役割を果たす。2011年11月に入籍、15年7月に第一子を出産。

■吉井妙子(よしい・たえこ)

宮城県出身。朝日新聞社を退社後、スポーツジャーナリストとして独立。『帰らざる季節——中嶋悟F1五年目の真実』(文藝春秋)で91年度ミススポーツライター賞受賞。スポーツに限らず人物ノンフィクションを幅広く執筆。『頭脳のスタジアム』(講談社)、『日の丸女子バレー ニッポンはなぜ強いのか』(文藝春秋)、『音楽は心と脳を育てていた』(日経BP社)、『天才を作る親たちのルール』(文藝春秋)他多数。

日時：平成30年 **10月10日(水)19:00~20:30** 開場18:30

会場：**なかのZERO(西館)小ホール** (中野区中野2-9-7 中野区もみじ山文化センター)

定員：500名 事前申込制

参加費：無料

主催：公益財団法人上廣倫理財団 <http://www.rinri.or.jp>

共催：なかのZERO 指定管理者

**事前申込制
参加費無料**

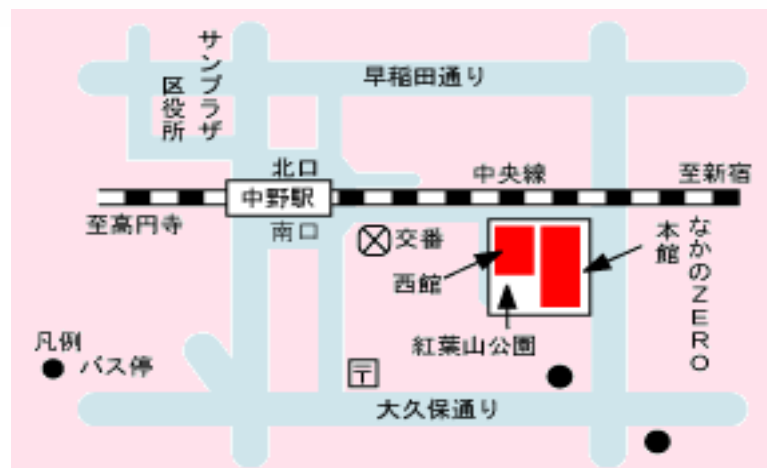
■申込方法■

当講演会に参加ご希望の方は、なかのZERO生涯学習支援課(TEL:03-5340-5011)へお電話にて、講座名・お名前・お電話番号をご連絡ください。「受付時間 9:00~18:00」または、ホームページ「ないせすアカデミア」
<http://nicesacademia.jp/>

[ないせすアカデミア](http://nicesacademia.jp/)

の申込フォームから応募できます。「教室/講座情報」をご覧ください。定員(500人)に達し次第締め切ります。キャンセルの場合はご連絡ください。

<会場アクセス>



●JRまたは東京メトロ東西線の中野駅南口から徒歩8分
●駐輪場は、西館の地下1階にあります。

一般の方の駐車場はございません。体の不自由な方には専用駐車場があります。